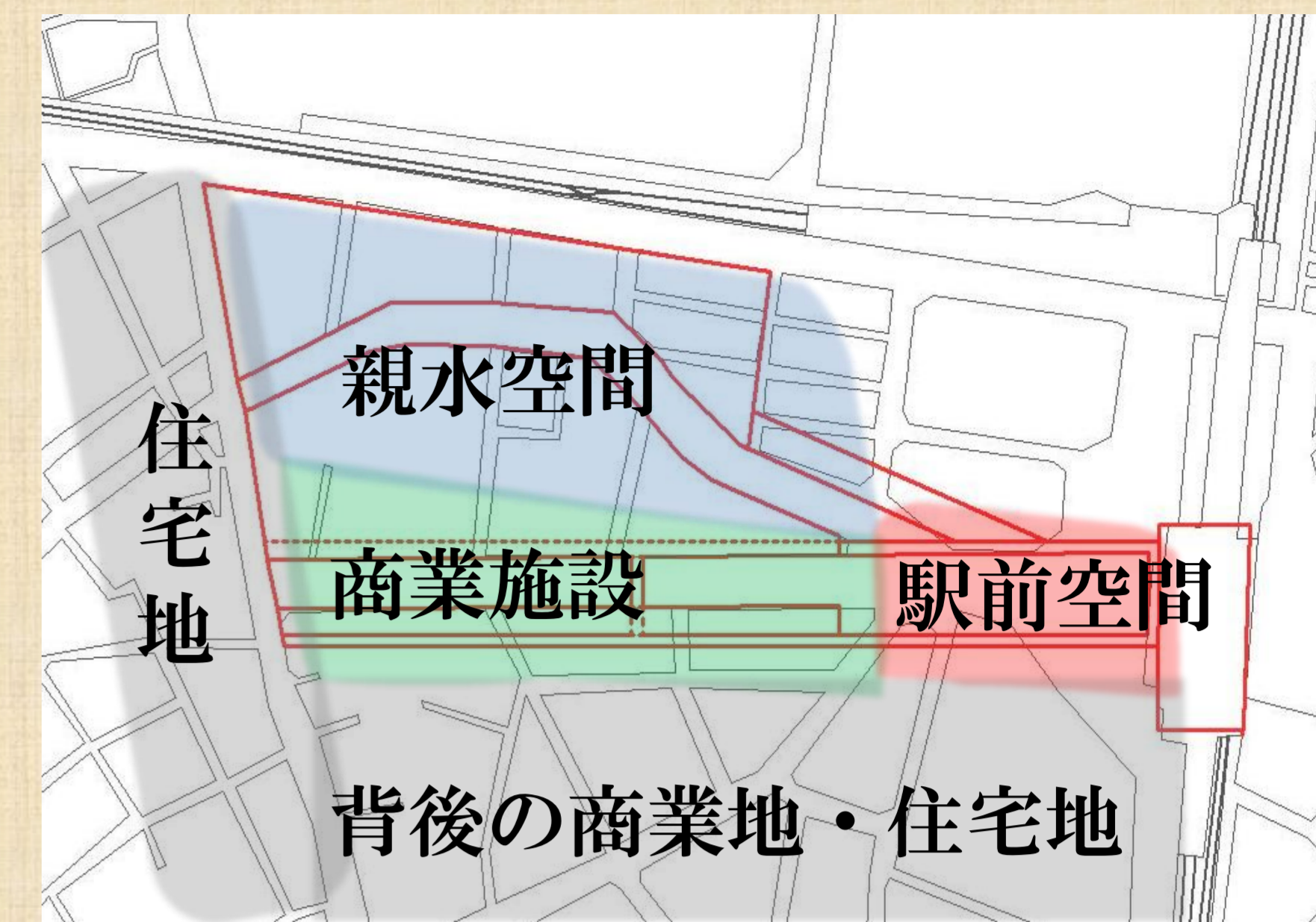
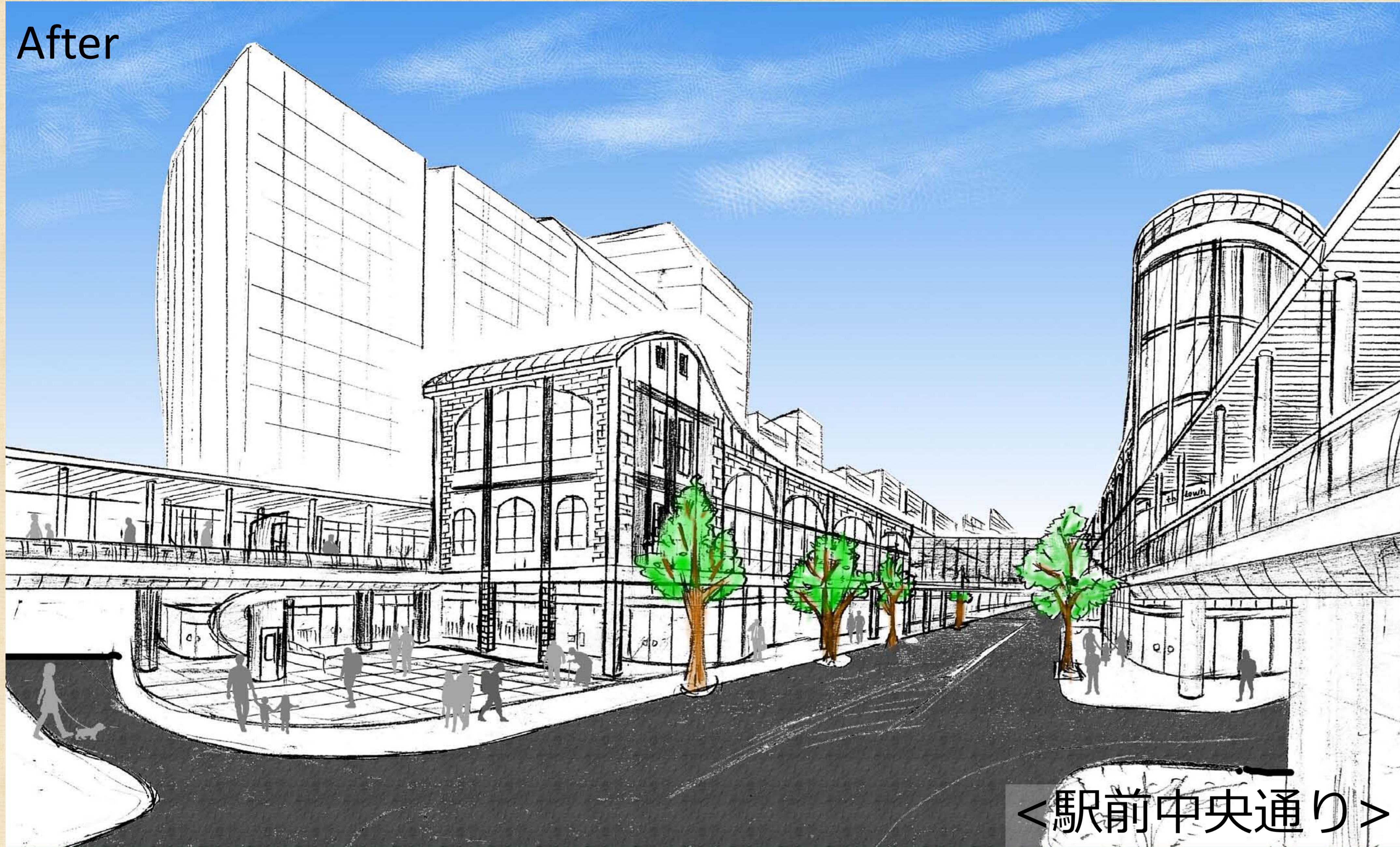


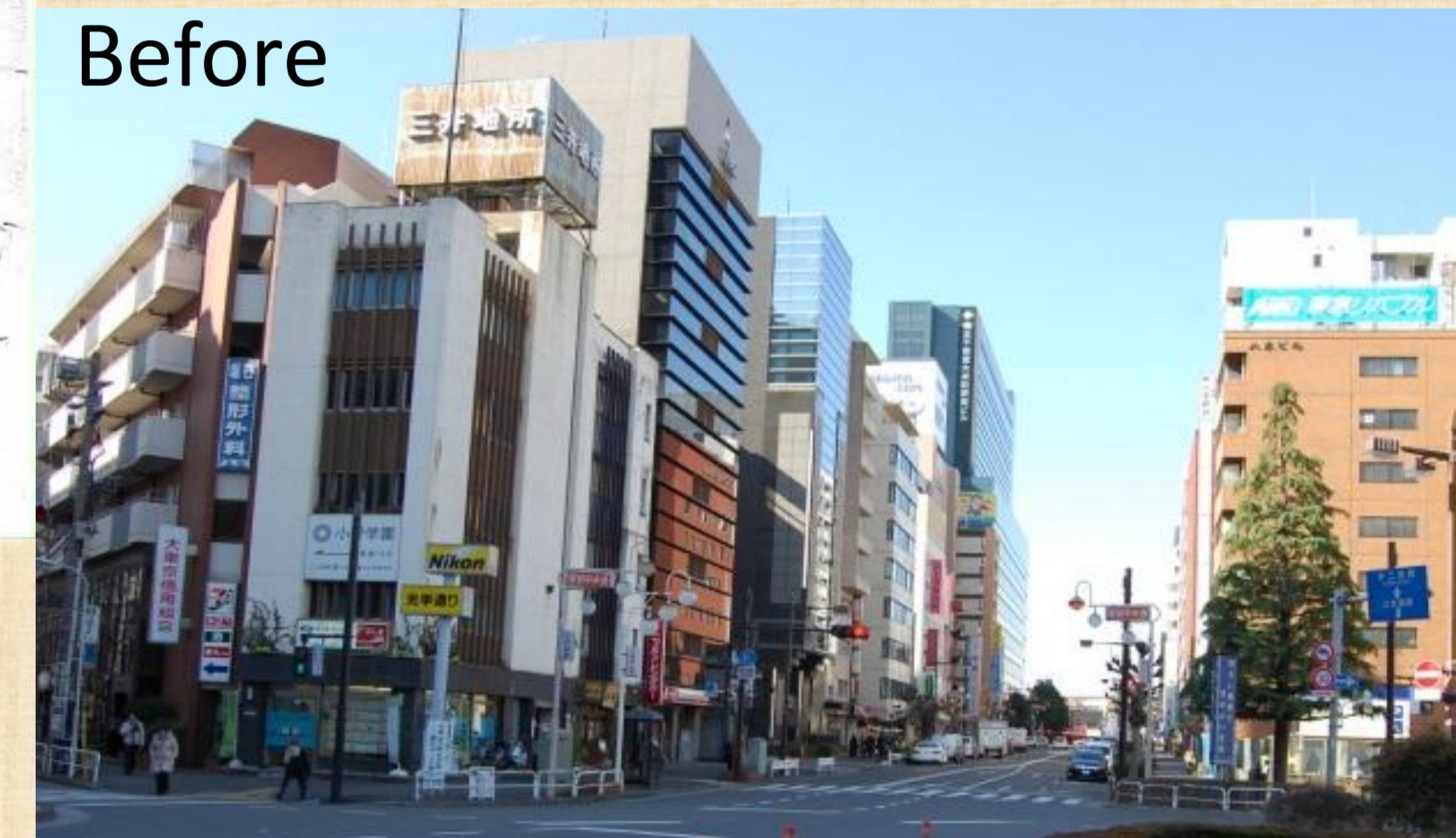
After



## 人が集まる大井町駅前

大井町駅と商業施設を直接結ぶことで、安全な歩行動線を確保する。また、親水空間と商業施設とを一体的な回遊空間として整備し、駅利用者や品川区近隣の住民が誇る「大井町駅前」を創造する。

Before



# 回遊と開放

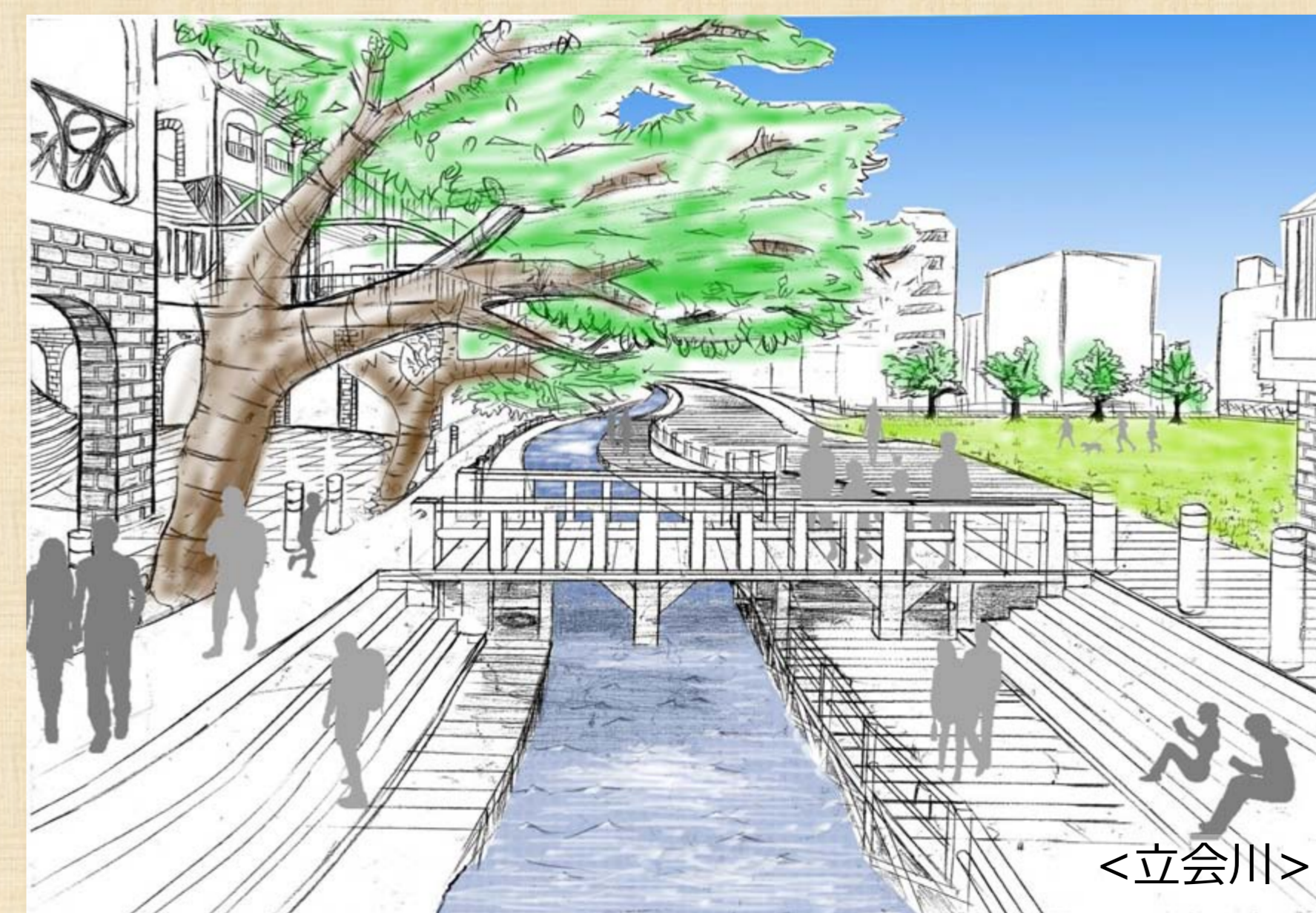
暗渠である立会川を開渠化し、駅前中央通りにバーなどの飲食施設や女性向けの店舗が入る複合型商業施設を建設。駅と施設を直接結ぶスカイウォークで接続することで、駅からのアクセス性を高め、人の集まる魅力的な駅前とする。

## 歩行空間の創造

スカイウォークは、駅を利用する人々の視線を中央通りに引きつけ、駅前を安全でスムーズな歩行空間へと変える。



<駅前ロータリー>



<立会川>

## 親水空間の創出

昭和40年代に暗渠となった立会川上流を河川の更新期に合わせて開渠化。親水空間を創出する。



～人があつまる大井町駅前中央通りアイデアコンペ～

## 提案要旨説明書

## ■作品タイトル

## 回遊と開放

## ■提案要旨

## 1. 「回遊と開放」に込める意味

今回、我々は大井町駅周辺の開発案を「回遊と開放」と題して提案する。

「回遊」という言葉では、大井町駅前の交通問題を解消することと、「遊」という文字から連想出来る、明るく楽しいイメージから、食事やショッピングなど、自分の時間を自由に過ごす人々を表現している。「開放」は、ビル群に日光を遮られた駅前中央通りを明るく開放的にすることと、暗渠化した立会川上流部を開渠として開放し、人々に親しまれる河川としての再生の意味が込められている。

## 2. 提案のコンセプト

## ①スカイウォーク

駅から中央通りへ向かうためには、階段やエレベーターでの上り下りや、交差点の信号待ちなどが動線上の大きな障壁となっている。その改善策として、大井町駅のコンコースから同一レベルの歩道橋で沿道店舗と接続することにより、上り下り、信号待ち、道路横断のない歩行空間を実現する。

## ②商業施設

駅ビル内に「アトレ」があるため、駅から出ずに食事やショッピングを済ませることができ、人の流れが駅の中で完結してしまう。そこで、会社帰りのビジネスパーソンを主なターゲットとする「バー」などの飲食施設や、女性向けの店舗といった、品川区近隣の住民が休日にショッピングを楽しめるといった、「アトレ」にはない独自の商業展開を行うことで、中央通りにおける集客力を強化する。この商業施設の建物は、駅に近い部分を一階層高くすることにより、通りの「門」や「玄関口」といった認識を与える効果を持たせる。

## ③立会川の再生

立会道路の地下を流れる立会川の上流部は、昭和40年代に暗渠化してから40年近くが経過し、河川としての更新期を迎えている。そこで河川整備に合わせて立会川上流部を開渠し、公園を設置することで親水空間を創出する。この公園は自然空間としてだけでなく、災害面でも立会川と合わせて災害時の延焼遮断帯、帰宅難民の受け入れを行う避難地として活用し、さらに、災害発生時に消火用水や生活用水として利用可能なものとする。

※なぜこのような提案としたのかという理由や、特に工夫した点、アピールしたい点などを自由に記載してください。